

奈良国立大学機構と両大学の取り組みについて、
今回は、主に、9 月の動きを中心にお伝えします。

—————▼お知らせの種類▼—————

- A. 榑理事長から B. 両大学共通イベント
C. 奈良教育大学の取組 D. 奈良女子大学の取組

//////////▼注目 Topics▼//////////

- 【C-3】ESD・SDGs センターの杉山拓次研究員が NHK と共同で制作した春日山原始林の VR コンテンツを公開中（9/3）
【D-2】公開シンポジウム「生活者目線で未来の暮らしをつくる」を開催（9/14）
【D-3】令和 6 年 9 月卒業式並びに学位記授与式を挙行（9/30）

//////////

┌──────────┐
│ \ / | A. 榑理事長から
└──────────┘

「日本の大学は世界の未来のためにどう貢献できるか」

奈良国立大学機構 理事長 榑 裕之

日本の大学は、明治維新直後に工部大学校（後の東京大学工学部）が誕生するなど、国の近代化に貢献し、第 2 次大戦後は、復興と民主化、技術立国などに貢献してきました。筆者も 1964 年から学部と大学院で学ぶ恩恵に浴し、深く感謝しています。1990 年頃には、日本のハイテク企業や研究者の活躍が国際的に高く評価され、ソ連解体に伴う冷戦終焉への期待も加わり、日本の未来への楽観論が広がりましたが、その後、バブル経済崩壊、不況到来、原発事故などが続き、情勢は一変し、進路を再模索する時代となっています。

特に、近年、IT 産業の大変革や新興国の躍進で、日本企業の世界における地位が低下し、学界でも高引用の論文数や博士取得者の数が低迷し、産と学の奮起が待たれています。また、世界的にも、地球温暖化の進行、集中豪雨や地震災害、パンデミックの蔓延、民族や国家間の対立と戦乱、経済較差などに伴う国民意識の分断などの難課題が続出し、日本など主要国では、政策決定者とそれを選ぶ国民の聡明な対応が不可欠となっています。

我が国は、厳しい状況にあるものの、世界の人口の 1.5%に当たる国民が総生産の 4%を産出し、米中に続く 3・4 位の地位を競い合う立場にあり、政府も

企業も大学も、課題解決のために、応分の貢献をすることが望まれています。その際、普遍性に富む科学や技術分野における貢献に加え、日本が永年培ってきた独自の価値観や発想、例えば、自然との調和や持続可能性を重んじる生活・文化の伝統や、仏教や西欧思想など異文化を受容した上で独自のものを創り出す柔軟性などが、国際合意の形成に大きく貢献すると思われます。

さらに、戦後 80 年間、戦争への関与を注意深く避けながら、知恵や努力により豊かで平和な国際社会の建設に努めてきた実績も、日本人が関わる国際的連携作業の推進の際に人間同士の信頼感の構築に貢献すると期待されます。日本の大学は、こうした知的伝統の上に学びと探究の場を提供し、専門能力に加え、世界の状況を的確に捉える力と堅固な価値観を備え、世界に貢献する意欲を持つ若者を毎年 60 万人以上送り出しています。こうした地道な努力こそが、今後の世界に大学が提供できる最大の貢献であると言えます。

B. 両大学共通イベント

<開催案内>

○第 4 回くらしものづくりカレッジ「迷いからの楽しみ～LaQ が生み出す弱者の兵法～」

場所：奈良カレッジズ交流テラス

日時：令和 6 年 10 月 18 日（金）17:00～18:30

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/news/2024/20241018.pdf

○「地域ニーズに応える産学官連携を通じたりカレント教育プラットフォーム構築支援事業（文部科学省）」の取組『リカレント教育講座 2024』

場所：奈良国立大学機構（奈良女子大学ほか）

※会場変更の可能性あり

日程：令和 6 年 10 月～令和 7 年 1 月

※要申込、申込締切：各講座初回実施日の 10 日前

https://www.nara-ni.ac.jp/nara_colleges/recurrent/lecture2024.html

C. 奈良教育大学の取組

【C-1】The Straits Times の記事に保健体育講座の笠次良爾教授のコメントが掲載（8/26）

https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/08/26_media.html

【C-2】2024 年度三附属交流会を開催（8/28）

https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/08/28_event.html

【C-3】ESD・SDGs センターの杉山拓次研究員が NHK と共同で制作した春

日山原始林の VR コンテンツを公開中 (9/3)

https://www.nara-edu.ac.jp/news/2024/09/03_media.html

【C-4】 特別支援教育研究センター 2024 年度ニューズレターを発行 (9/25)

<https://www.nara-edu.ac.jp/cp-support/assets/R5Newsletter.pdf>

<開催案内>

○書で巡る まほろば展 (奈良教育大学漢字書道研究室 主催)

場所：奈良市杉岡華邨書道美術館

日時：令和 6 年 10 月 5 日 (土) ～27 日 (日) 9:00～17:00

https://www.nara-edu.ac.jp/event/exhibition_20241005.pdf

○国連大学 チリツィ・マルワラ 学長 特別講演会

場所：奈良教育大学講義 1 号棟 101 講義室

日時：令和 6 年 10 月 9 日 (水) 13:00～15:00

<https://www.nara-edu.ac.jp/international/symposium/specialrecture241009.html>

○公開シンポジウム「科学からみえる伝統のかたち」

場所：奈良教育大学管理棟 2 階大会議室

日時：令和 6 年 10 月 13 日 (日) 10:00～12:40

https://chemartmater.nara-edu.ac.jp/event_01.html

○奈良教育大学附属中学校「総合的な学習公開研修会」

実施方法：対面と ZOOM のハイブリッド開催

日時：令和 6 年 11 月 6 日 (水) 13:30～16:00

https://www.nara-edu.ac.jp/JHS/information/2024/09/2024_3.html

D. 奈良女子大学の取組

【D-1】 広報誌「ならじよ today」42 号を発行 (8/30)

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/intro/today/>

【D-2】公開シンポジウム「生活者目線で未来のくらしをつくる」を開催 (9/14)

https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2024news/20240927_1.html

【D-3】 令和 6 年 9 月卒業式並びに学位記授与式を挙行政 (9/30)

<https://www.nara-wu.ac.jp/nwu/news/2024news/20240930/20240930.html>

<開催案内>

○第 25 回共生科学研究センターシンポジウム「カーボン・ニュートラル ～将

来に引き継ぐ地球環境とくらし〜」

場所：G棟 101 教室

日時：令和 6 年 10 月 20 日（日）13:00～17:00

<https://blog.canpan.info/nwu-kyousei/archive/182>

○第 21 回 NWU キャリアトークカフェ

場所：学術情報センター 国際セミナー室

日時：令和 6 年 10 月 21 日（月）16:30～18:00

<https://cdpd.nara-wu.ac.jp/2024/09/26/cafe1021/>

○“知る・学ぶ・伝える equality” 公開講座

実施方法：オンライン配信

日時：令和 6 年 10 月 28 日（月）13:30～15:00

※要申込、申込締切：令和 6 年 10 月 21 日（月）

<https://gepo.nara-wu.ac.jp/lecture-meeting/equality/>

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲

バックナンバーは以下よりご覧いただけます。

<https://www.nara-ni.ac.jp/news/narakoku/index.html>

また、学内掲示板以外のメールでの配信をさせていただいている方で、

配信停止をご希望の方は、お手数ですが、

somu02@jimu.nara-wu.ac.jp まで、その旨お知らせください。

▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲▽▲